

## 第62回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成29年9月12日（火） 15：00－16：10

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、佐藤参事官、高倉参事官、滝澤参事官、山口参事官、行松参事官

(3) 関係省庁

内閣官房 内閣衛星情報センター管理部 芹澤部長

防衛省 防衛政策局 岡次長

経済産業省 製造産業局 田中審議官

文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 谷課長

総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課 翁長課長

4. 議事要旨

(1) 平成30年度概算要求における宇宙関係予算について

宇宙開発戦略推進事務局、関係府省より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

(以下、○委員からの意見、質問、●事務局及び関係府省からの回答)

- 衛星データのオープン&フリー化に関する予算について、JAXAが運営する衛星の他に、ASTER（アスター）のような観測データもプラットフォームに統合していく予定か。
- 具体的にどのような衛星データをプラットフォームに統合していくべきかについては、現在、検討を行っているところ。
- 衛星データのオープン&フリー化に関する予算について、将来的にプラットフォームをどう維持するか。また、ユーザーのニーズも取り込みながら、使いやすいものにしていくことが必要。
- 潜在的なユーザー候補の方々にも現在検討会のメンバーに入っていただき検討を行っているところ。また、プラットフォームの維持については、未来永劫、国費に依存していくのではなく、将来的には民営化ができないかといった検討を行っている。
- 情報収集衛星の開発について、データ処理能力の強化や即時性の観点からもしっかり対応が必要。
- Xバンド通信衛星の3機体制は着実に進めていただきたい。また、人事交流も含めて米軍との演習についても積極的に進めていただきたい。
- 限られた予算の中で、他省庁の予算がどう安全保障に活かされていくのかについてもご検討いただき、連携を取っていただきたい。
- 量子暗号通信技術は、防衛の観点からも極めて重要であり、省庁間連携の下、進めていただきたい。また、利用開拓も含めて、テラヘルツセンシングシステムの開発を進めていただきたい。さらに、

E T S 9の開発についても着実に進めていっていただきたい。

- H3の開発は極めて重要。予算的には厳しい状況であることは承知しているが、しっかり予算確保をしていただきたい。
- 周波数リソースが限られている中、周波数の調整が不要な光通信衛星は極めて有効。光中継衛星の利活用をしっかり進めていただきたい。

(2) 宇宙産業ビジョン2030を踏まえた今後の取り組み状況について

宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見があった。

- 宇宙産業ビジョンに書かれた内容が、実際に動き出していることは大変良い。この取組を継続的に進めていただきたい。
- JAXAでは、グアテマラ共和国の衛星をISSから放出する取組も進んでいる。引き続き、幅広い海外展開をお願いしたい。

以上